

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）	1
1. 産業技術学部	3
2. 保健科学部	5
3. 技術科学研究科	7

注) 現況分析結果の「優れた点」及び「特色ある点」の記載は、必要最小限の書式等の統一を除き、法人から提出された現況調査表の記載を抽出したものです。

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	教育活動の状況		教育成果の状況	
産業技術学部	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
保健科学部	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
技術科学研究科	【2】	相応の質にある	【3】	高い質にある

1. 産業技術学部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 4)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 4)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 学生の能動的かつ主体的な学修を促すことを目的として、平成 27 年度にアクティブラーニング検討委員会を設置し、障害学生に有効なアクティブラーニングの手法について検討を行うとともに、そのあり方について全学への周知を行っている。

開講している講義の約 9 割（89.7%）がアクティブラーニングを導入している。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

2. 保健科学部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 …………… 6)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 …………… 6)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

3. 技術科学研究科

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 8)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 9)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔優れた点〕

- 情報アクセシビリティ専攻では、学位授与の基準として学会発表できる水準を明確に定め、また学生には、在学中1回以上学会発表することを義務付けることとした。

〔特色ある点〕

- 産業技術学専攻では、実際に利用している情報保障などの支援システムについては、障害当事者である学生の立場からの検証を元に基盤技術や統合技術についての議論を深め、改善を図るなどとともに、少人数教育の利点を活かし、主体的かつ対話的な学びに重点をおいた授業を実施している。
- 欧州、米国等の協定校に技術科学研究科の学生を派遣し、授業・ワークショップ参加、学生の討論や交流を通じて、異文化理解力や国際感覚、語学力の向上を図った。また、国際会議への出席を通して、学生の国際手話を使用したプレゼンテーション能力の育成を図っている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 高い質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

産業技術学専攻では、第3期中期目標期間中における平均就職率は100%（就職希望の修了者7名）であり、聴覚に障害のある学生が研究職や技術開発職といった専門性を活かした職に就いている。また、就職先へのアンケート結果において、在学経験が役に立っていると多くの企業等が回答している。

〔優れた点〕

- 産業技術学専攻では、第3期中期目標期間中における平均就職率は100%（就職希望の修了者7名）であり、聴覚に障害のある学生が研究職や技術開発職といった高い専門性を活かした職に就いている。
- 令和元年度に修了生の就職先の企業等を対象とするアンケート調査を実施しており、この中で、修了生が業務を行うにあたり、技術科学研究科への在学経験が役に立っていると回答した企業等は、12社中10社（83%）だった。